

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
	橋本市立西部小学校	丸井 利恵
学校所在地		
(〒648 - 0084) 和歌山県橋本市柏原554 - 2 tel 0736 (33) 0472 fax 0736 (33) 0972		
担当者名	役職名・担当教科	
東山 大次郎	教諭	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は橋本市（合併前の旧橋本市）の西部に位置し、北は葛城山脈をもって大阪府と隣接し、南は東西に流れる紀の川を隔てて橋本市学文路地区と接している。校区の広さは東西約4km、南北約9kmあり、本校は柏原地区の丘の上に所在している。</p> <p>学校北側には田畑が広がり、山の斜面には多くの柿畑が見られる。南側には旧大和街道が通り、現在はその近くを国道24号線、京奈和自動車道、JR和歌山線がそれぞれ東西に走っている。本年度の児童数は9クラス161名である。「やさしく・かしこく・そして、たくましい子の育成 ～仲間と磨き合い・高め合う中で～」を教育目標に掲げ、全教職員が力を合わせて「チーム西部」として学校運営に取り組んでいる。児童はとても元気で活発であり、何事にも一生懸命に取り組む姿が見られる。また、山田地域共育コーディネーターや保護者の「西部っ子応援隊」を中心に、地域や保護者の協力をさまざまな場面で得ている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 25名	職員4名	高野山、本校
実践研究テーマ		
自ら学び、互いに深め合う児童の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」の視点を通して～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産について調べて発表しよう！ ～世界から日本、日本から高野山へ～	
〔キーワード〕 世界遺産学習・郷土愛・情報活用能力		
<p>〔単元目標〕</p> <p>世界遺産について適切に調査できている。紀伊山地の霊場と参詣道について歴史や世界遺産に認定された意義を正しく理解している。（知識・技能）</p> <p>世界遺産について調べた知識を分類・整理し、相手意識と目的意識をもって効果的にまとめ、伝えることができている。（思考・判断・表現）</p> <p>世界遺産について意欲的に学ぶことができている。また、世界遺産について調べて気付いたことを、自分たちの住む橋本に結び付けて考えている。（主体的に取り組む態度）</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 66 時間 （「世界遺産について調べて発表しよう！」 28 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県世界遺産センター：次世代育成事業における、世界遺産講座等 ・世界遺産マスター：壇上伽藍～金剛峯寺 及び、一の橋～弘法大師御廟における現地学習ガイド 		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	日本の世界遺産について知る。	・日本の世界遺産について知っていることを発表させる。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ワークシート)
2	調べたい日本の世界遺産を決める。	・より多くの世界遺産について知識・興味を深めさせるために個人でまとめさせるようにする。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ミライシード)
3	日本の世界遺産について調べる。	・発表を聞く人にわかりやすく伝わるような条件を提示する。	【知識・技能】 (観察・ミライシード)
4			
5			
6			
7	日本の世界遺産についてまとめる。	・聞き手がわかりやすいスライドの表現の工夫をさせる。 ・まとめるのが早く終わった児童には、他の世界遺産についてまとめるように声掛けをする。	【思考・判断・表現】 (観察・ミライシード)
8			
9	日本の世界遺産について友達に発表する。	・発表が苦手な児童に配慮し、グループ内での発表形式にする。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ミライシード)
10	世界の世界遺産について知る。	・世界の世界遺産について知っていることを発表させる。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ワークシート)
11	調べたい世界の世界遺産を決める。	・より多くの世界遺産について知識・興味を深めさせるために個人でまとめさせるようにする。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ミライシード)
12	世界の世界遺産について調べる。	・発表を聞く人にわかりやすく伝わるような条件を提示する。	【知識・技能】 (観察・ミライシード)
13			
14			
15			
16	世界の世界遺産についてまとめる。	・聞き手がわかりやすいスライドの表現の工夫をさせる。 ・まとめるのが早く終わった児童には、他の世界遺産についてまとめるように声掛けをする。	【思考・判断・表現】 (観察・ミライシード)
17			
17	世界の世界遺産について友達に発表する。	・発表が苦手な児童に配慮し、グループ内での発表形式にする。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ミライシード)
18	高野山について知る。	・クイズ形式で高野山についての基礎知識を確認する。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ミライシード)
19	高野山で知りたいことや聞いてみたいことを話し合う。	・ワークシートにまとめさせるようにする。	【思考・判断・表現】 (観察・ワークシート)

20	高野山を訪ね、五感で歴史や自然、信仰について学ぶ。	児童が五感を働かせながら高野山を体験できるよう支援するとともに、主体的に質問し、世界遺産マスターの講話を傾聴する姿勢を育むための声かけを意図的に行う。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ミライシード)
21	高野山で学んだことを学習支援アプリ上に書きだす。	・高野山学習の記録写真を振り返りながら、学んだことを整理させる。	【思考・判断・表現】 (観察・ワークシート)
22	高野山についてまとめたいことを決め、改めて知りたいこと深めたいことを調べて、まとめる。	・インターネットを活用してさらに深めたいことを調べさせる。	【知識・技能】 (観察・ミライシード)
23			
24			
25			
26	世界遺産センターの方に改めて質問したいことをインタビューする。	・聞きたいことをメモに取らせるようにする。	【知識・技能】 (観察・ミライシード)
27	まとめたことをさらに改善する。	インタビューしたことを受けて追加事項やまとめる内容を推敲する。	【思考・判断・表現】 (観察・ワークシート)
28	学習したことを授業参観で保護者にわかりやすく伝える。		【主体的に取り組む態度】 (観察・ミライシード)
<p>〔単元学習の成果と課題〕</p> <p>本単元を通して、児童は世界遺産について主体的に調査し、情報を整理・分析する力を高めることができた。特に、高野山での現地学習や世界遺産センター職員へのインタビュー活動を通して、世界遺産が多くの人々の努力や思いによって守られてきたことを実感する姿が見られた。一方で、調べた内容をより深く考察し、自分の考えとしてまとめる力には個人差が見られたため、今後は問いの質を高める指導や、対話を通じた思考の深化を一層充実させたい。</p>			
<p>〔世界遺産学習の効果〕</p> <p>世界遺産学習を通して、児童は郷土への愛着を深めるとともに、文化や歴史を守り伝えることの意義について考えることができた。また、ICTを活用した情報収集・整理・発信を通して、情報活用能力の向上も図ることができた。</p>			
<p>〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕</p> <p>今後は、学習の初期段階で児童自身がより主体的に問いを立てられるよう工夫するとともに、外部講師との連携をさらに深めることで、学びの質を高めていきたい。また、発表活動を地域や保護者へ広げることで、地域とともに学ぶ教育活動を推進していく。</p>			

様式 2

令和7年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

高野山現地学習の様子



授業参観の様子

